共創によるコミュニティ再生
まちづくりと持続可能な水利用を考える

小泉・吉村・橋本・後藤研究室
（共創まちづくり）

http://ut-cd.com/

コミュニティ再生に係る理論と実践手法の開発

コミュニティや「まち」の再生をめざした、デザイン、プランニングそしてマネジメントの方法論や手法、それらを支える基礎理論について、さまざまなアプローチから探求し、実際のコミュニティ再生プロジェクトやまちづくりに応用することを研究の主軸としています。そのために、下記の研究アプローチを横断的に扱います。

（1）方法論・手法の研究　（2）計画・制度・体制の研究　（3）実践研究

持続可能な都市の水システムを考える

安全な水を、安定的に、持続可能な形で供給するためのシステムと浄水技術の確立を目指して、特に、細孔サイズよりも大きな物質を確実に除去可能な**膜ろ過技術**に着目して研究しています。膜ろ過技術は、開発途上国を含む世界各地で導入されてきています。近年では下水処理水の飲用再利用にも応用されてきており、**より高い安全性の確保が可能なシステム**の開発も行っています。国内では人口減少下の国内では**水供給システムの持続可能性**が課題であり、機能劣化の観点からも研究を進めています。

■様々な分野を統合し共創するコミュニティ

■コミュニティリビングによる郊外住宅地の再生

■無電化地域の水供給事情の調査（ブルキナファソ）